

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		① 運送業		
② 専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁		床
		その他の壁		屋根
	出入口	(しきい高さ cm)	その他	
タンクの構造・設備	形状	③ 角型	寸法	④ 幅 1,000 mm 奥行 600 mm 高さ 800 mm
	容量	⑤ 500 L	材板質厚	⑥ SS400 4.5 mm
	通気管	⑦ 内径25 mm×1本 先端に引火防止網 40メッシュ	給油、注油設備	⑧ 型式〇〇-〇〇 ホース3m, ピストンノズル有 給油設備20L/分×1基
タンクの固定方法		⑨ 車止め		
⑩	採光、照明設備			
⑪	換気、排気の設備			
消火設備		⑫ 第5種消火設備 (〇〇消火器10型) × 2本		
工事請負者住所氏名		⑬ 〇〇県〇〇市〇〇〇丁目〇〇番〇〇号 〇〇工業㈱ 担当 〇〇 〇〇 電話〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※記入方法

各欄の該当がない部分は、斜線または「なし」等を記入し、空欄が無いようにしてください。

- ① 事業の概要は、貯蔵所が設置されている事業所の事業内容、貯蔵目的等を記入してください。
- ② 屋外にタンクを設ける場合は斜線にて抹消し、屋内にタンクを設ける場合は、屋内タンク貯蔵所構造設備明細書記入方法を参考に記入してください。
- ③ 形状は、縦置円筒型、横置円筒型、角型、楕円型等を記入してください。
- ④ 寸法は、次の項目を記入してください。
 - (1) 縦置円筒型は、内径及び側板の底部からトップアングルまでの高さ
 - (2) 横置円筒型は、内径、胴長、鏡出及び全長
 - (3) 角型は、縦、横、高さ
 - (4) 楕円形は、長さ、幅、高さ、最大幅等特徴的な部分の長さ
- ⑤ 容量は、空間容積を除いた実容量を記入してください。（危政第5条第2項参照）
- ⑥ 材質、板厚は、タンクそれぞれの部分の材質及び板厚を記入してください。
- ⑦ 通気管は、タンクに設置される通気管の種別、設置数、内径を記入してください。
- ⑧ 給油設備、注油設備は、設備の型式及び概要を簡潔に記入してください。
- ⑨ タンクの固定方法は、地盤面又は架台等への固定方法を記入してください。
- ⑩ 採光、照明の設備は、貯蔵所に設置する採光及び照明の種類、設置個数を記入してください。
- ⑪ 換気、排気の設備は、換気、排気の設備に分け、種別（自然、強制、自動強制）、設備種類、設置台数等を記入してください。
- ⑫ 消火設備は、貯蔵所に設置される消火設備について、危政令別表第5に規定する区分、設備名、設置数等を記入してください。

（例） 第4種消火設備（粉末消火50型）1本、第5種消火設備（粉末消火3.5kg）5本
- ⑬ 工事請負者住所氏名は、工事請負者の住所、氏名（法人は、主たる事業所の所在地、法人名及び担当者名）及び連絡先の電話番号を記入してください。